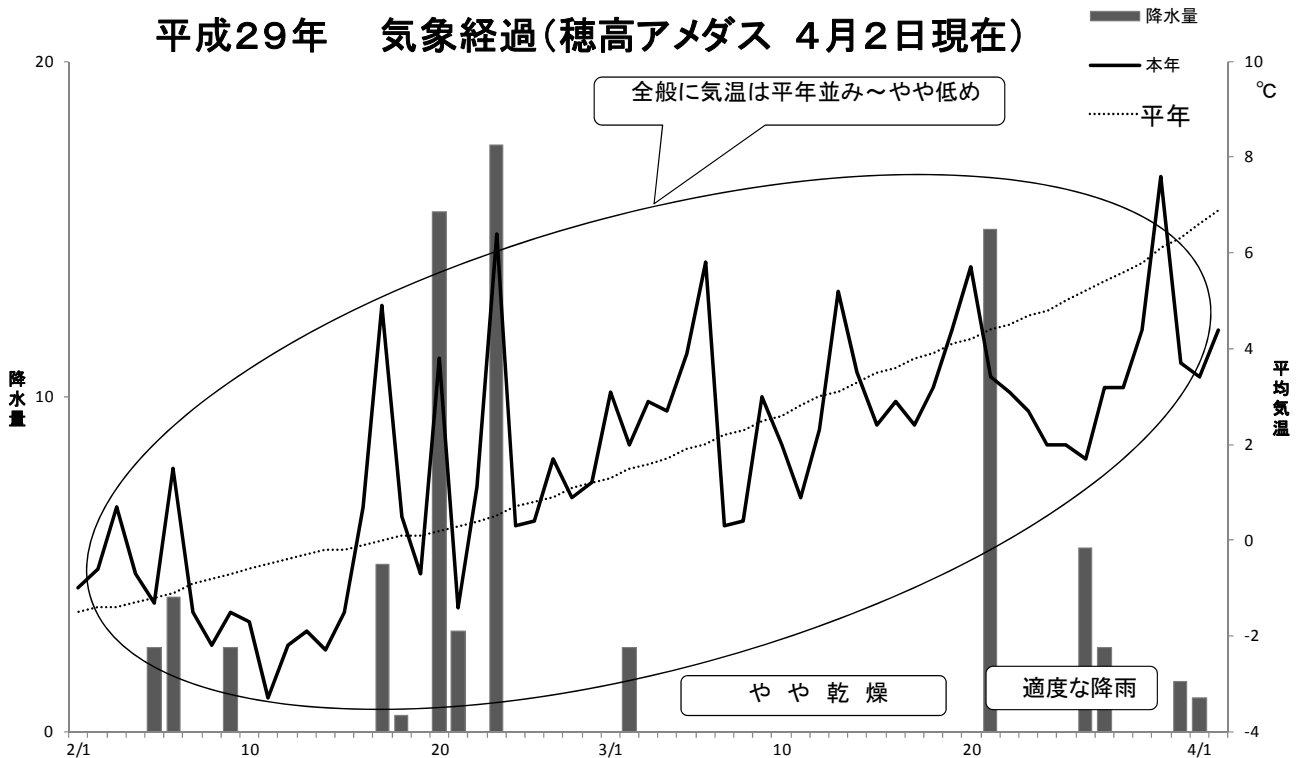


平成29年 作物技術普及情報 第3号

(麦の生育状況、2回目の追肥、水稻育苗管理について)



1 気象状況

- ・ 越冬後、気温は平年並み~やや低めに推移しています。3月上、中旬は降雨が無く乾燥気味に経過しましたが、下旬以降適度な降雨に恵まれました。
- ・ 今後、天気予報には十分注意し、高温・低温対策の徹底をお願いします。

2 麦の生育状況と2回目(止葉展開期)の追肥について

(1) 麦の生育状況

気温は平年並み~やや低めに推移したため、播種時期によって生育量に大きな差が見られます。昨年10月中に播種された圃場は生育量は旺盛ですが、11月以降は播種時期が遅い圃場ほど生育量が少なく茎数が少ない状況にあります。

生育進度は現時点で、ほぼ平並みであると思われます(昨年はこの時点で平年より7日程度進んでいました)。但し、今後の気温変動によっては、生育進度が平年並みになることもあります。

障害を受けてない場合は、以下の生育状況と推定されます。

- | | | | |
|--------|----|---|--------------------|
| 10月中旬～ | 播種 | → | 生育過剰気味（畦間が見えない状態）、 |
| 10月下旬～ | 播種 | → | 生育は「良」 |
| 11月上旬～ | 播種 | → | 生育は「やや良」 |
| 11月中旬～ | 播種 | → | 生育は「茎数やや少」 |
| 11月下旬～ | 播種 | → | 生育は「茎数少」 |

3月31日現在、島内品種試験ほ場（11月4日播種）の幼穂長は次のとおりです。

大麦	ファイバースノウ	1mm	(昨年7～10mm)
	シュンライ	2mm	(昨年7～10mm)
小麦	シラネコムギ	未	(昨年2～3mm)
	しゅんよう	未	(昨年2～3mm)
	ゆめきらり	未	(昨年3mm)
	ゆめかおり	未	(昨年8mm)

※ 昨年は10月23日播種。

また3月31日～4月1日現在、現地の生育良好な圃場の幼穂長・止葉抽出状況は次のとおりです。

有明	しゅんよう	1mm	(昨年1.5～2mm)
北穂高	シラネコムギ	未	(昨年1mm)
	ファイバースノウ	2～3mm	(昨年4～7mm)
穂高	ファイバースノウ	2mm	(昨年8～9mm)
南穂高	ゆめきらり	1mm	(昨年2～3.5mm)
豊科	ゆめきらり	未	(昨年1mm)
堀金	しゅんよう	1mm	(昨年3～4mm)
三郷	ゆめきらり	未	(昨年3mm)
梓	ゆめきらり	1.5mm	(昨年4～5mm)
和田	ユメセイキ	未	(昨年3～4mm)
神林	ホワイトファイバー	2.5mm	(昨年シュンライ 9～10mm)
	ユメセイキ	1mm	(昨年2～3mm)
笹賀	ホワイトファイバー	2mm	(昨年シュンライ 11～14mm)
寿	ゆめかおり	1mm	(昨年3～4mm)
中山	ゆめかおり	1mm	(昨年5～6mm)
山辺	ゆめかおり	2～3mm	(昨年7mm)
岡田	ゆめかおり	2mm	(昨年2～5mm)

以上から、生育ステージは

大麦 幼穂長 1～3mm (昨年同時期 7～14mm)

小麦 幼穂長 未～3mm (昨年同時期 1～7mm)

と推定されます。

生育良好な圃場の生育進度は 大麦・小麦ともにほぼ平年並みと考えられます。

但し、今後の気象変動によって生育進度も左右されますのでご注意願います。

(2) 2回目の追肥時期

- 大麦及び小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）は止葉展開期を確認して適期追肥をお願いします。

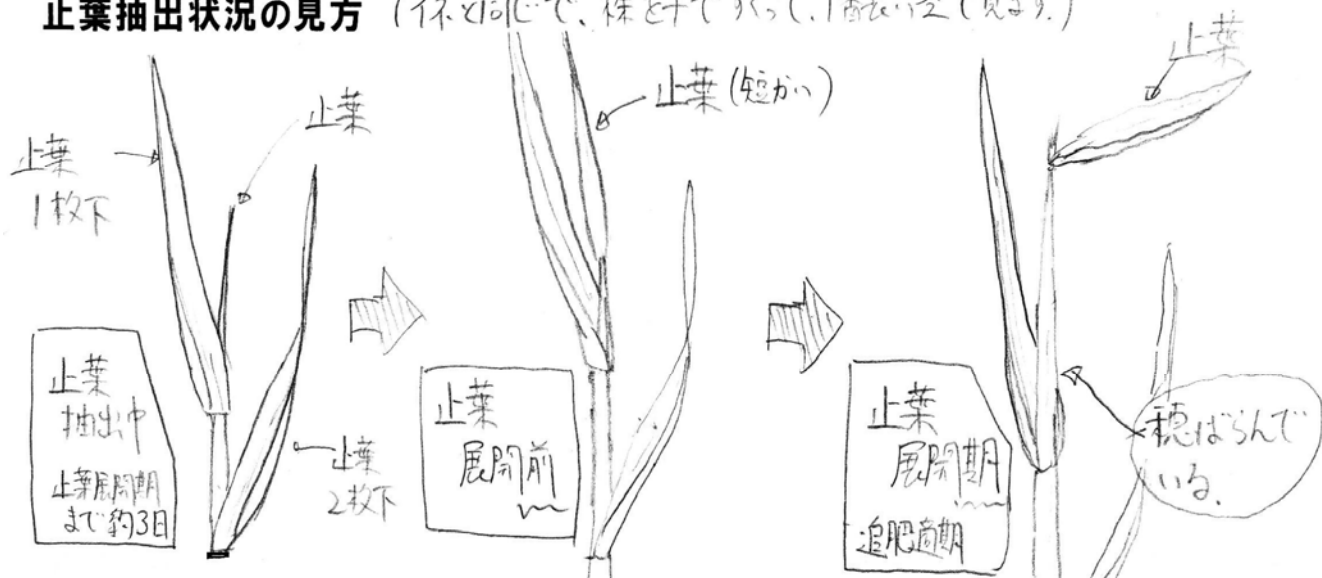
今後の気象状況にもよりますが、大麦は4月20日頃から、小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）は4月27日頃から、止葉展開期を迎えると思われます（平年並、昨年より7日遅い）。

- パン用小麦（ゆめかおり）は出穂状況を確認して出穂期～穂揃い期（5月連休中～連休明け頃と思われます）に追肥をお願いします。

【注意】

- ★ 極端な早期追肥は倒伏をまねきます。
- ★ 大麦の場合、適期を逃すと硬質麦（硝子率が増加）となり、品質ランクを落とします。
- ★ 小麦の場合、適期を逃したり無追肥にすると低タンパクになり、品質ランクを落とします。無追肥は絶対避けてください。
- ★ 適期に散布しても、土壌が乾燥していると効きませんので、降雨が期待できない場合、灌水とセットで実施してください。
- ★ 必ず止葉の抽出状況を確認して追肥をお願いします。
暖かい日が続くと、思ったより生育が進む場合があるので、今後の気象状況に注意してください。

止葉抽出状況の見方（体と同じで、株を手でずらして、一番長い茎で見ます。）



(3) 2回目の追肥量

播種時期によって生育差があります。ほ場の生育状況に合わせた追肥量でお願いします。

追肥量の基準

★大麦及び小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）
窒素成分で2kg/10a前後（硫安の場合10kg前後/10a）

★パン用小麦（ゆめかおり）
窒素成分で4kg/10a前後（硫安の場合20kg前後/10a）

【重要】・・・圃場の生育にあわせた追肥をお願いします・・・

★以下は大麦・小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）の場合★

生育が悪いほ場（播種遅れ、湿害、凍上害等による）

- 少なめ追肥 窒素成分で1kg/10a ⇒ 穂数少ないが登熟向上
- × 必要以上の追肥 ⇒ 大麦：硬質粒の発生、小麦：粉色・製麺性の低下

生育が良いほ場

- 多め追肥 窒素成分で2kg/10a ⇒ 穂数多く、しかも登熟向上
（ただし、生育量が旺盛で葉色が薄い場合は、窒素成分で更に多めに3kg/10a）
- × 追肥未実施 ⇒ 充実不足による小粒化、タンパク質量低下

縞萎縮病の発生したほ場

- | | |
|----------------------|-------|
| 明らかに生育が少ない場合 | 少なめ追肥 |
| 圃場に緑色が戻って生育は概ね回復した場合 | 標準 |

2 水稻の育苗管理

播種最盛期を迎えますが、寒暖の差が激しいと、ムレ苗や苗立枯病等が発生します。天気予報に十分注意し、適温管理の徹底をお願いします。

特に霜注意報が出た朝は晴天になることが多く、急激にハウスやトンネル内が高温になるので、換気を早めに（日の出とともに）行うようご指導ください。

またハウスのビニールを新品にした場合は、温度が上がりやすいので特にご注意ください。

主な病害の病徴と原因

病 徴	病 害 名	原 因
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出芽中、出芽後に茶色く腐敗 ・ 2葉期以降に発病→<u>引っ張ると葉が抜ける</u> ・ <u>2葉目が1葉目の葉鞘を突き破って出る</u>、その葉身の基部が白い ・ 全面枯れ(初期)～坪枯れ症状 	もみ枯細菌病	催芽、出芽時の高温 緑化期の高温、過湿 ほか
<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶色くしおれる ・ 葉身の基部が白い ・ 根の生育が悪い ・ 坪枯れ症状 	苗立枯細菌病	催芽、出芽時の高温 緑化期の高温 ほか
<ul style="list-style-type: none"> ・ 苗が曲がっている ・ 葉鞘から葉身に褐色の条斑 ・ 苗箱の中で均一的に出る 	褐条病	催芽、出芽時の高温 ほか
立ち枯れ症状	フザリウムによる 苗立枯病 ピシウムによる 苗立枯病 ムレ苗	育苗初期の低温 立枯防除の不徹底 ほか 緑化期以降の低温 立枯防除の不徹底 ほか 特に 1.5 葉期以降の低温 (生理障害で抵抗力の低下)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地際に白カビ、種籾の周りに淡紅色のカビ 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 急激にしおれて、枯死 ・ カビがない ・ 症状が拡がっている 		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 急激にしおれて、枯死 ・ カビがない ・ 症状が拡がらない 		
他にも育苗中の病害はあるが、よく見られるものは上記のもの。		